



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 ラサ工業株式会社
 コード番号 4022 URL <http://www.rasa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 庄司 宇秀
 (氏名) 永戸 正規

TEL 03-3278-3892

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	10,283	6.6	400	15.8	257	115.9	232	126.2
25年3月期第2四半期	9,649	△10.9	345	△60.8	119	△81.9	102	△80.4

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 343百万円 (785.2%) 25年3月期第2四半期 38百万円 (△93.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	2.93	—
25年3月期第2四半期	1.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	31,725	7,928	24.7	98.73
25年3月期	30,403	7,585	24.7	94.54

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 7,829百万円 25年3月期 7,497百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	10.9	1,050	41.5	600	53.5	500	18.3	6.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	79,442,038 株	25年3月期	79,442,038 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	142,633 株	25年3月期	142,226 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	79,299,454 株	25年3月期2Q	79,301,190 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、先進国を中心とする経済の持ち直しや、円安基調による輸出の伸張、景気対策・復興需要による内需の拡大と相俟って景気は緩やかな回復が続いております。その一方で、電子部品・デバイス業界においては総じて回復感が乏しく、素材産業においては、原材料の輸入価格や、エネルギーコストなどの上昇が続いております。

このような環境のなかで、当社グループといたしましては、中期経営計画の2年目を迎え、引続き「安定した収益力」と「財務健全化の達成」を基本方針として業績の向上に努めて参りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高は102億83百万円（前年同期比6.6%増）、営業利益4億円（前年同期比15.8%増）、経常利益2億57百万円（前年同期比115.9%増）、四半期純利益は2億32百万円（前年同期比126.2%増）となりました。

当社グループのセグメント別の概況は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①化成品事業

燐酸などの燐系製品につきましては、一般品および二次塩類等の出荷が若干の増加となった他、電子工業向高純度品についても若干の増収となりましたが、依然円安の影響を主因とする原材料コスト高が続いていることから、損益面では低迷した状況が続いております。

水処理用などの凝集剤は、民間向けの出荷数量が堅調に推移し、官庁向け一部製品の減少を補い増収となりました。コンデンサー向け原料は、前期末の在庫調整の影響から、徐々に回復傾向が続いておりますが、減収となりました。また、消臭剤は増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、67億60百万円（前年同期比7.8%増）、セグメント利益（営業利益）は、2億64百万円（前年同期比6.7%減）となりました。

②機械事業

破砕関連機械につきましては、部品販売が引き続き堅調に推移し、またプラント工事も増加しましたが、単体機械の販売が震災関連需要の一巡により大幅に減少し、全体としては若干の減収となりました。鋳鋼品は、若干の増収となりました。

下水道関連の掘進機は、販売については輸出を中心に堅調な受注があるものの、販売時期の遅れから減収となりましたが、レンタル物件が増収となったことから、若干の増収となりました。

また、精密機械加工は、低調な結果となり大幅な減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、20億42百万円（前年同期比1.4%減）、セグメント利益（営業利益）は、2億10百万円（前年同期比110.4%増）となりました。

③電子材料事業

化合物半導体向け高純度無機素材につきましては、市況の低迷は続いているものの、移動体通信向けが比較的堅調に推移していることから、ガリウムの出荷量が増加し増収となりました。また、LED向け一部ユーザーが好調であったことから赤燐も増収となりました。インジウムについては、国内ユーザーの低迷から減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、8億58百万円（前年同期比11.7%増）となり、セグメント利益（営業利益）は、58百万円（前年同期比51.4%減）となりました。

④その他

石油精製用触媒の再生事業は、堅調な稼働が続いたことに加え、出荷の前倒しが重なったことから大幅な増収となりました。不動産の賃貸は、前年並みとなりました。

この結果、当セグメントの売上高は、6億21百万円（前年同期比15.5%増）、セグメント利益（営業利益）は、3億67百万円（前年同期比15.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産につきましては、流動資産が前連結会計年度末に比べて13億21百万円増加し、154億68百万円となりました。この主な増減理由としては、現金及び預金が17億67百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が3億87百万円減少したことなどによるものであります。固定資産は前連結会計年度末に比べてほぼ増減はなく162億56百万円となりました。この主な内訳は、投資その他の資産の増加32百万円、有形固定資産の減少29百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末における負債につきましては、主として長期借入金が11億82百万円増加した一方、短期借入金が3億67百万円減少したことなどによって、前連結会計年度末に比べて9億78百万円増加し237億96百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産につきましては、四半期純利益2億32百万円の計上、及び為替換算調整勘定が81百万円増加したことなどによって、前連結会計年度末に比べて3億43百万円増加し79億28百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における資産合計は317億25百万円となり、自己資本比率は24.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ17億67百万円増加し、57億85百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は13億72百万円となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益2億57百万円、減価償却費5億44百万円、売上債権の減少4億19百万円及びその他の負債の増加1億17百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は4億9百万円となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出4億12百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、増加した資金は7億53百万円となりました。主な内訳は、長期借入による収入28億円及び長期借入金の返済による支出19億44百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しは、円安基調の継続が見込まれることや政府による経済対策等により、日本経済は緩やかに回復していくものと思われま。しかしながら、回復に向かっている米国は財政問題を抱え、中国、新興国には景気減速のリスクが内在しており、依然不透明感が残っております。

このような状況の中、化成事業においては、黄燐調達価格の高止まりに対して、引き続きコストダウンを図る他、価格是正などの対応策を講じ、損益の立て直しを図ってまいります。また、電子材料事業においても、今後商品市況の底打ちにより、高純度無機素材の損益は改善するものと予想しております。機械事業は、下水道関連の掘進機について、円安継続により海外向けの販売が好調に推移するものと予想しております。一方、その他事業において、石油精製用触媒再生事業の販売が一部第2四半期に前倒しになったことにより、下半期の損益は計画より減少する見込みであります。

以上から、通期業績見通しにつきましては、第2四半期累計期間の損益が当初計画を上回っているものの、進捗率および上記の状況を勘案した結果、平成25年5月15日に公表いたしました予想は変更を行いません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度の適用)

第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,018	5,785
受取手形及び売掛金	6,383	5,996
商品及び製品	1,478	1,268
仕掛品	930	1,165
原材料及び貯蔵品	810	741
その他	543	550
貸倒引当金	△16	△39
流動資産合計	14,147	15,468
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,515	5,512
機械装置及び運搬具(純額)	1,846	1,682
工具、器具及び備品(純額)	283	296
土地	5,155	5,155
リース資産(純額)	42	40
建設仮勘定	414	539
有形固定資産合計	13,258	13,228
無形固定資産		
借地権	919	919
その他	35	32
無形固定資産合計	954	952
投資その他の資産		
投資有価証券	1,307	1,361
その他	791	727
貸倒引当金	△56	△13
投資その他の資産合計	2,042	2,075
固定資産合計	16,255	16,256
資産合計	30,403	31,725

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,098	3,037
短期借入金	11,258	10,891
未払法人税等	74	54
賞与引当金	137	137
その他	1,263	1,456
流動負債合計	15,832	15,577
固定負債		
長期借入金	4,529	5,711
退職給付引当金	1,744	1,855
その他	711	652
固定負債合計	6,985	8,219
負債合計	22,817	23,796
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,443	8,443
利益剰余金	△827	△595
自己株式	△34	△34
株主資本合計	7,580	7,813
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△23	1
繰延ヘッジ損益	4	△2
為替換算調整勘定	△64	17
その他の包括利益累計額合計	△83	16
少数株主持分	87	98
純資産合計	7,585	7,928
負債純資産合計	30,403	31,725

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	9,649	10,283
売上原価	7,330	7,895
売上総利益	2,318	2,388
販売費及び一般管理費	1,972	1,988
営業利益	345	400
営業外収益		
受取配当金	6	7
受取地代家賃	21	20
違約金収入	—	47
為替差益	—	45
デリバティブ評価益	24	—
その他	55	59
営業外収益合計	108	180
営業外費用		
支払利息	180	173
休止鉱山鉱害対策費用	60	41
その他	94	108
営業外費用合計	335	323
経常利益	119	257
特別損失		
減損損失	3	—
特別損失合計	3	—
税金等調整前四半期純利益	115	257
法人税、住民税及び事業税	35	42
法人税等調整額	△17	△9
法人税等合計	18	33
少数株主損益調整前四半期純利益	96	223
少数株主損失(△)	△6	△8
四半期純利益	102	232

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	96	223
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△149	25
繰延ヘッジ損益	—	△7
為替換算調整勘定	91	101
その他の包括利益合計	△57	119
四半期包括利益	38	343
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27	332
少数株主に係る四半期包括利益	11	11

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	115	257
減価償却費	571	544
退職給付引当金の増減額(△は減少)	49	110
受取利息及び受取配当金	△8	△9
支払利息	180	173
減損損失	3	—
売上債権の増減額(△は増加)	82	419
たな卸資産の増減額(△は増加)	△120	64
その他の資産の増減額(△は増加)	49	△1
仕入債務の増減額(△は減少)	△494	△65
その他の負債の増減額(△は減少)	142	117
その他	94	△9
小計	666	1,601
利息及び配当金の受取額	9	9
利息の支払額	△174	△177
法人税等の支払額	△50	△63
法人税等の還付額	5	2
営業活動によるキャッシュ・フロー	455	1,372
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△306	△412
その他	26	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△280	△409
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△146	△94
長期借入れによる収入	2,500	2,800
長期借入金の返済による支出	△1,883	△1,944
その他	△5	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	465	753
現金及び現金同等物に係る換算差額	16	51
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	657	1,767
現金及び現金同等物の期首残高	4,999	4,018
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,656	5,785

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化成品 事業	機械 事業	電子材料 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	6,270	2,072	768	9,111	537	9,649	—	9,649
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	6	—	—	6	13	19	△19	—
計	6,276	2,072	768	9,117	550	9,668	△19	9,649
セグメント利益	283	99	120	503	317	821	△475	345

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油精製用触媒再生及び不動産の賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△475百万円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用△479百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化成品 事業	機械 事業	電子材料 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	6,760	2,042	858	9,662	621	10,283	—	10,283
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	8	—	9	17	14	32	△32	—
計	6,768	2,042	868	9,680	636	10,316	△32	10,283
セグメント利益	264	210	58	533	367	900	△500	400

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油精製用触媒再生及び不動産の賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△500百万円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用△500百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「その他」に含めておりました精密機械加工の事業を、会社組織の変更に伴い、「機械事業」に報告セグメントを変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。